四報 こうに

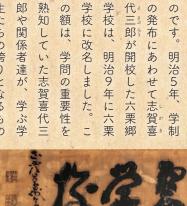
こうたの文化財

新たに町の指定文化財になりましたので紹介します

扁額 六栗学校

指定番号37 書蹟》

学校に改名しました。こ 学校は、 熟知していた志賀喜代三 代三郎が開校した六栗郷 学校に掲げられていたも のです。明治5年、 小学校の前身である六栗 の額は、 の発布にあわせて志賀喜 この額装の書は、 学問の重要性を 明治9年に六栗 学制 豊坂



生たちの誇りとなるもの が必要と考えて、明治19年~20年頃に山岡

鉄舟に依頼して書いてもらったものです。

一般公開

6月20日 (1) 午前9時~正午

ところ 六栗公民館(六栗字本郷5-1)

ところ

深溝神社(深溝字一之宮7)

問合せ 195) そのほか 生涯学習課生涯学習グループ FAX (0564)63·1657 事前の申し込みは必要ありませんので時間内に会場にお越しください 月曜休館(月曜が祝日の場合は翌日が休館) **☎**(0564)6·111(中央公民館内、 内線

深溝神社本殿附棟札5枚

指定番号38建造物》

時代に位置づけられる 造物のなかでは、古い 紀前半)に、深溝松平 家5代松平忠利によっ 造物です。幸田町の建 て建てられた幸田町に ける有数の歴史的建 江戸時代前半(17世



文化財です。 揃っています。 月1日と15日は拝殿が開かれていますので 所と関連する、 ほとんど保っているうえ、建てられた当時 から本殿を見学することができます。 棟札や、その後の修理の棟札がすべて 物であり、現在まで、 一般公開はしていませんが毎 深溝松平家ゆかりの貴重な 史跡島原藩主深溝松平家墓 造営当時の状態を



某月某日 世界で一つの宝物 幸田保育園

で縛っていきます。 自分がこれでいい、と思うところま がら「先生、これ結構難しいよ~ ルクルと輪ゴムで縛っていました。 頃…年長児が白い布をつまんで、ク 「私はお花の模様にするんだ!」と 点を見つめ、指を一生懸命使いな 少しずつ春の足音が近づいて来た

業です。染色液は、いちご・みか 染め上がるのか、ドキドキわくわく いきます。子どもたちはどんな色に る植物を煮出しその中に漬け込んで ん・玉ねぎ・ヨモギ〟と、身近にあ それが終わると、次は染めの作



匂いがするよ」と、どの子も世界で うずめながら「先生、いちごのいい すてきな夕焼け色だよ」、布に顔を 染め上がりました。「僕の玉ねぎは、 縛ったところは白く模様として浮き しながら時を待ちます。頃合いを見 出て、全体は植物の淡い優しい色に て、輪ゴムを外し乾かして完成です。

した。 つ編みに編んだ縄跳びを 面の笑みです。 しまい、卒園していきま い出を描いたコマと、三 この中に、保育園の思



発行。整知県幸田町(毎月1日発行) 編集。企画部企画政策課 〒444-0192 額田郡幸田町大字憲治字元林1番地1 cp (054)62-1111 成(0564)63-5139 ホームページ®https://www.town.kota.lg.jp/ Eメール®kota@town.kota.lg.jp 題の花门はき」町の木「やまざくら」

